

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	5	日	8:30	12:00	五味ヶ谷市民の森	24名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っています。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。今年は不作の年ということで、5月に1回だけ開催して、不要なタケノコを駆除できるよう企画でした。しかし不作でタケノコが少なかったことと参加者が多かったことで、タケノコを採りすぎることになりました。また、日常めったにできない自然体験として、掘ったタケノコをそのまま焚火で焼く大名焼きを実施し、竹林の面白さをアピールしたい。

### 2、活動内容ほか

今年は不作の年で、タケノコは、昨年にくらべ激減しました。一昨年から盗掘に悩まされていて、警察に見回りを要請したせいか、露骨な盗掘の跡は、見られませんでした。折りとられた跡がわずかに見つけられました。過去にみられたような販売目的の大量盗掘は、なくなっていると期待しています。

イベント前に竹林をチェックしたところ30cm以下のタケノコが41本みつけられました。そこで1家族1本だけタケノコ掘り体験を行い、掘ったタケノコを持ち帰ってもらうことにしました。数本見逃したタケノコが存在することを前提に、芽がでたばかりのタケノコをスタッフが掘り大名焼きにしました。参加者は、掘る数は減ったが、それだけ1本を丁寧に扱い、赤いつぶつぶが出る所まで、掘ることができたようです。

タケノコ掘り体験終了後、皮のむき方、料理方法、保存方法など説明をしました。また、参加者を4グループに分けて、スタッフが竹の役割と竹林整備について、竹材の利用法など、竹林をめぐるながら説明を行ないました。

### 3、評価：

今年は不作の年でしたが、瀧嶋さんに助けを乞うことなく、市民の森だけで楽しくイベントを開催できました。当日キャンセルがなく、40家族、子ども61人、大人74人で合計135人が体験できました。

掘りたてのタケノコを素早く焼いて食べる大名焼きも、初めての体験に、興味津々で満足していたようです。

### 4、課題

今年は不作の年であり、1回だけの開催としましたが、複数のタケノコを掘る方もいて、さらに50cmクラスのタケノコも掘られてしまいました。今年の残った若竹は、数十本となり、これから、竹細工や門松で竹を切り倒すと、竹林の竹が減少する事態となります。

全国の美竹林情報を閲覧して、太い竹をたっぷり生やす竹林が美しい竹林であると信じている私としては、タケノコ農家の竹林のような貧相な竹林になりそうで心配です。

来年は、豊作の年ですが、体験会を5月1回にして、竹林保護を優先する意見が採決され

たため、希望がもてました。

<里山参加会員>

長島、牛島、柏木、阿部、村上、柳川、小沼、村上、金、  
伊佐山、小澤邦、橋本、小嶋、小沼、石川、佐野  
風祭、吉井、松井、小澤弘、吉富、田中      撮影時不在 杉山、上見

<活動写真>

